

ななお 会議所だより

Nanao Chamber Of Commerce And Industry

2026

No. 659

2

<https://nanao-cci.or.jp>

[mail:office@nanao-cci.or.jp](mailto:office@nanao-cci.or.jp)



七尾商工会議所

検索



七尾商工会議所

検索



新年互礼会

CONTENTS

- P2 新年互礼会
- P3 日本商工会議所 小林会頭能登視察／青年部／女性会
- P4 N-As通信／動画編集スキルを学ぶセミナー／
MONOKATARI EXPO 2025 出展報告
- P5 確定申告の準備はお早めに!!／
税理士による税の無料個別相談会

- P6 商業部会／サービス業部会／
2025年全国そろばんコンクール七尾大会
- P7 トレンド通信／行事カレンダー
- P8 会員の広場／アクサ生命



2年ぶりに新年互礼会を開催!



挨拶をする杉野会頭

参加いただき、新年の門出にふさわしい、温かくも力強い交流の場となりました。

会の冒頭では、杉野会頭より年頭の挨拶が行われ、地震発災以降、復旧・復興に向けて尽力されてきた会員事業者や関係機関、全国から寄せられた支援への感謝が述べられました。また、厳しい状況が続く中でも地域経済を支え続けている事業者の努力に敬意を表しつつ、今年は「復旧」から「再生」、そして次の成長へと歩みを進めていく重要な一年であるとの認識が示されました。あわせて、和倉温泉の再生をはじめとする地域経済の立て直しや、能登全体が連携して取り組む復興の必要性について触れ、商工会議所としても事業者に寄り添い、伴走支援を進めていく決意が語られました。

続いて、木下副会頭のご発声による乾杯の後、参加

者同士が和やかに交流を深めました。久しぶりに顔を合わせる会員も多く、情報交換や意見交換が活発に行われるなど、会場は終始活気に包まれていました。

また、昨年4月に開催した「復幸の集い」で寄せられた思いや意見を振り返りながら、今後の七尾の復興について語り合う場面も見られました。参加者からは、「震災後、久しぶりに集まって話ができてよかった」「今の七尾の状況を改めて共有できた」といった声に加え、「商工会議所をもっと身近で活用しやすい存在にしてほしい」といった率直な意見も寄せられました。これらの声は、今後の会議所活動を進めていくうえでの貴重な示唆として受け止めています。

そして、北原副会頭による中締めの後、出席者全員で「がんばろう三唱」を行い、七尾の復興と地域経済の再生に向けた思いを一つにしました。

本互礼会を通じて得られたつながりや貴重なご意見を今後の活動に生かし、七尾商工会議所では、会員事業者の皆さまに寄り添い、相談しやすく、頼りにしていただける存在を目指してまいります。地域経済の再生と七尾の未来づくり、そして地域商業の再生とにぎわいの創出に向け、関係者と連携しながら会員の皆さまとともに歩みを進めてまいります。

最後に、ご多忙の中ご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

最後に、ご多忙の中ご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



木下副会頭による乾杯の様子



女性会のみなさま



青年部のみなさま

日本商工会議所 小林健会頭能登視察

1月20日(火)、日本商工会議所の小林健会頭は、能登半島地震から2年が経過した和倉温泉を視察し、七尾商工会議所杉野会頭、和倉温泉旅館協同組合谷崎理事長等の地元経済界代表と意見交換を行いました。

現地では、人口減少や建設費の高騰と人手不足が事業再開の大きな障壁となっている現状が共有されました。

対策として地元側は、能登全域の経済団体が連携する「能登経済復興広域連携協議会」の設設計画や和倉温泉では新会社を設立し、復興期間中の雇用維持や、介護支援等を組み込んだ新たな人材確保モデルの構築を進めていることを説明しました。

小林会頭は、個別の再建に留まらず、地域全体で生活環境を整備する「面」の復興が重要であると指摘し

ました。財政支援を求める地元に対し、日商としての後押しを約束するとともに、支援が継続する今後1～2年以内に自立への具体的な道筋をつけることが不可欠だと助言しました。



青年部 臨時総会を開催 次年度会長予定者に五十嵐亮氏を選出

1月27日(火)、当所青年部(会長:松原圭一郎)は、当所にて令和7年度臨時総会を開催しました。

冒頭、松原会長は今年度スローガン「YEG ベネフィット」を振り返り、「ベネフィットは相手や団体に求めるものではなく、自らが作り上げるもの。地域に影響を与える存在として、残り数ヶ月も全力で取り組みたい」と、会長職を通じた気づきとともに、残りの任期への決意を熱く語りました。

審議では、第1号議案として令和8年度会長予定者に五十嵐亮氏(マホー工業株式会社 代表取締役)が推

薦され、満場一致の拍手で承認されました。五十嵐氏は「得られた知識を自単会に返し、地域の方々が『YEGに相談すれば解決してくれる』と期待をかけてもらえるような、頼られる団体にしていきたい」と力強く抱負を述べました。

また、監事講評では清水宏司監事が、今年の干支である「丙午(ひのえうま)」が新しいスタートにふさわしい年であることに触れ、より良い組織を目指してほしいといった激励を送りました。



挨拶をする松原会長



抱負を語る五十嵐次年度会長予定者

女性会 桜の植樹

12月25日(木)、七尾商工会議所女性会は、新たな桜の植樹式を行いました。当日は会員9名が参加し、和やかな雰囲気の中で作業が進められました。今回の植樹は、かつて同地に女性会が植え、大切に育ててきた桜を伐採し、新たに「神代曙(じんだいあけぼの)」という品種の桜を植えるものです。この桜には、令和6年能登半島地震からの一日も早い復興を願い、「祈に桜」と書いて「祈桜(きさら)」と名付けました。

あわせて設置した樹名板は、女性会会員が心を込めて制作したタイルアートによるもので、想いのこもった仕上がりとなっています。春には美しい花を咲かせ、地域に希望を届ける存在となることを願っています。



七尾(N)の明日(As)の経営/経営のなやみ、なんでも、お手伝い

「動画編集スキルを学ぶセミナー」開催！ ～ 今こそ学びたい！動画編集スキルの磨き方 ～

1月27日(火)、当所にてスマートフォンを使った動画編集スキルを学ぶセミナーを開催しました。講師には、石川県よろず支援拠点コーディネーターの守部和孝氏をお迎えし、初心者向けの内容として、動画編集アプリ「VITA」を使用し、実際に操作しながら編集の基本を学びました。

講習では、Instagramでは縦動画、YouTubeでは横動画が主流であることなど、発信する媒体に応じた撮影方法の違いについて分かりやすく解説。動画は複数の短いカットを組み合わせ、テロップやアフレコを加えることで、より伝わりやすくなることを実際のインフルエンサーの動画を交えて紹介していただきました。

また、動画の長さは20～24秒程度が適しており、特に冒頭部分が重要であることや、初心者は「起・

承・転・結」を意識すると構成しやすい点についても説明。参加者からは多くの質問が寄せられたほか、「またこのようなセミナーがあれば参加したい」といった声も聞かれ、実践的で分かりやすい講習会となりました。



七尾の企業が取り組んだ、新たな発信と販路開拓のかたち — MONOKATARI EXPO 2025 出展報告 —

大阪・関西万博を契機とした取り組みの一つとして開催されたMONOKATARI EXPO 2025（主催：MONOKATARI EXPO 2025 コンソーシアム/後援：大阪商工会議所、北陸銀行/事務局：株式会社CR ENEO）に、七尾商工会議所会員企業が出展しました。

本展示は、KITTE大阪 2階 Giftpadスペースを会場に、2025年12月1日から2026年1月31日まで開催されたハイブリッド型展示会です。

全国各地の企業が参加し、VR・ARなどのデジタル技術とリアル展示を組み合わせ、商品そのものに加え、ものづくりの背景や想い、工程なども含めた情報発信が行われました。会場では、来場者との対話を重視した展示・販売が展開されました。

七尾からは、株式会社スギヨ、株式会社高澤商店、有限会社大根音松商店、合同会社アマイケ、革仕事の店tasolaの5社が参加し、それぞれが自社の強みや商品を紹介・販売しました。

会場では、商品をきっかけに足を止めた来場者との会話が生まれ、製品が生まれる背景や事業者の想いに耳を傾ける姿が多く見られました。展示・販売を通じ

て、各社にとって自社の価値や伝え方を見つめ直す機会となったことがうかがえます。

また、2026年1月8日には、NHK大阪放送局「関西ラジオワイド」において会場の様子が生中継で紹介されました。番組内では出展企業の商品や店舗が取り上げられるとともに、七尾の事業者が扱う商品や、能登の復興に向けた現状についても触れられ、地域の取り組みが広く発信されました。

さらに、合同会社アマイケは、2025年10月2日から4日に大阪・関西万博内で開催された展示企画「MONOKATARI JAPAN」にも出展しており、当時の来場者との対話や販売経験が、今回の展示にも生かされています。

本事業は会期を終えましたが、展示・販売を通じて想定を上回る反応が見られる場面もあり、結果として大阪・関西圏における新たな販路開拓につながるなど、参加企業にとって有意義な取り組みとなりました。

七尾商工会議所では、今後も会員企業によるこうした挑戦を継続的に支援してまいります。



税務署からのお知らせ

確定申告の準備はお早めに!!

【自宅でいつでもe-Tax申告!】

税務署では、来署せず、自宅等から申告手続きが完了する「e-Tax申告」を推進しております。「マイナンバーカード」とお持ちのスマホやパソコンがあれば、いつでも自宅等からe-Taxで申告書等を提出することができます。

【申告相談の受付期間と入場整理券のお知らせ!】

受付期間：令和8年2月16日（月）から3月16日（月）

受付時間：9時～16時 月曜日～金曜日（祝日を除く）



チャットボットの
利用はこちらから



国税庁LINEアカウント
はこちらから

（注）会場への入場には、「入場整理券」が必要となりますので、国税庁LINE公式アカウントでのオンライン事前予約をご利用ください。会場において当日受付も行っておりますが、当日の相談枠に限りがありますので、ぜひ、オンライン事前予約をご利用ください。

主催：七尾商工会議所／七尾青色申告会 協力：北陸税理士会七尾支部

**税理士による
の無料個別相談会**



個人事業者の皆様を対象に、所得税確定申告書・消費税確定申告書の作成に向けた無料個別相談会を下記のとおり開催致します。ご遠慮なくご相談ください。

令和8年 2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

令和8年 3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

○印が相談日 ☆印が確定申告・納付期限 ・2月16日(月)～3月16日(月) 所得税 他 ・3月31日(火) 消費税、地方消費税 他

■会 場：七尾商工会議所 3F 301会議室（※一部日程は使用する会場が異なります。）

■時 間：9：00～12：00、13：00～17：00 （相談時間は、1回80分程度）

■相 談 員：北陸税理士会 七尾支部 税理士 谷口健一氏・川上進氏・舟倉学氏・浅野弥生氏・清水昇氏

〈必要なもの〉 ＊令和7年(2025年)分に関する下記の確定申告書類をご持参ください。

- ①税務署から郵送された書類一式及び『お知らせ』
- ②青色申告決算書または収支内訳明細書の作成に関する帳簿書類等
- ③参考に昨年分の確定申告書類の控え、または写し

＊e-Taxの場合は、利用者識別番号及びその暗証番号の控えをご持参ください。

＊必ずマイナンバーをご準備ください。(扶養控除を受ける際には、扶養家族のマイナンバーも必要です。)

【問合せ先】七尾商工会議所

石川県七尾市三島町70-1 〒926-8642 TEL：0767-54-8888（電話でお申込み下さい。）

商業部会 第4回役員会と新年会を開催！

1月20日(火)、松乃鯨にて第4回役員会を開催し、あわせて新年会を行いました。新年会の開催は、コロナ禍や能登半島地震以降、久しぶりの実施となり、新たに就任した役員を含め、改めて顔を合わせる貴重な機会となりました。

役員会では、久保晋部会長より、七尾市中心部で公費解体が進む現状を踏まえ、今、商業部会として何ができるのかについて問題提起があり、意見交換を行いました。厳しい状況が続く中、商店街や地域商業の再生に向け、商工会議所として果たす役割を改めて確認しました。

また、新たに幹事として高松保晴氏(まつや時計店代表)が入会したことが報告されました。そして、七尾商工会議所3力年活動計画をもとに、2月から3月にかけて来年度の商業部会の行動目的を明確にしていけることを確認しました。あわせて、他県における震災

後の商店街復興事例の視察なども検討し、七尾の商店街復興に向け、部会一丸となって取り組んでいく方針です。会議後の新年会では、和気あいあいとした雰囲気の中で親睦を深めました。

引き続き、地域商業の再生とにぎわいの創出に向け、関係者と連携しながら活動を進めてまいります。



令和7年度サービス業部会役員会開催 ～令和8年度事業計画について～

1月16日(木)、七尾商工会議所にてサービス業部会(木下義隆部会長)を開催し、令和8年度の事業計画等について協議しました。

まず、新たに3名の役員が加わることを報告され、体制強化を図ることとなりました。続いて、令和8年度の主要事業として「視察研修事業」と「会員交流会事業」を軸に進めていくことを確認しました。視察研修については、神戸を訪問し、阪神・淡路大震災から30年を迎える地域の復興状況や公営住宅移行に伴う課題を学んではどうかとの意見が出され、次回役員会で具体的に検討していくこととなりました。また、会員交流会は50名規模で開催し、視察研修のフィードバックの場とするとともに、軽食を交えながら会員同

士がゆっくり交流できる形式にしていきたいと意見が一致しました。



2025年全国そろばんコンクール七尾大会

そろばんの振興と技術の向上をはかるため、日本珠算連盟・七尾珠算連盟では12月7日(日)、「全国そろばんコンクール」が開催されました。

県内4会場で228名、七尾会場では小・中学生・高校生16名が参加して、日頃の練習の成果を競い合いました。県内上位入賞者は10名と好成績を収めました。入賞者は次の皆さんです。

・小学校2年生の部

- 第5位 戸代原 悠之介(山王)
- 第6位 林 実奈歩(山王)

・小学校4年生の部

- 第2位 青木 つばさ(天神山)
- 第6位 堀 峻大(山王)
- 第8位 堀 雄大(山王)
- 第9位 林 佑晟(山王)

・小学校5年生の部

- 第5位 戸代原 瑛太(山王)

・小学校6年生の部

- 第7位 堀 凌大(山王)

・中学校1年生の部

- 第4位 青木 未来(天神山)

・中学校2年生の部

- 第1位 萩 文哉(中能登)

・石川県中学生の部

- 第1位 萩 文哉(中能登)



県内上位入賞者の皆さん

「『内輪受けマインド』に宿る危うさ」

この1カ月に金沢と広島を2度ずつ訪れる機会がありました。ともに現在、全国的に見ても有数の活気ある地方都市の代表例といえそうです。北陸地方の中核都市である金沢は、北陸新幹線の金沢開業から10年たち、その後も駅に大規模な商業施設が次々とオープンしています。インバウンドや首都圏からの若い女性客の来訪で大変なにぎわいを見せています。週末だけでなく平日でも駅の商業施設には観光客があふれていました。施設内の人気飲食店には長い行列ができるほどでした。

一方、中国地方の中核都市である広島も、JRの駅ビルの2階に、市内を走る路面電車が直接乗り入れるように改修されたことで、地域住民だけでなく多くのインバウンドを含む観光客にとっても利便性が大きく向上しています。

金沢も広島も、駅周辺や中心市街地の都市開発・整備はまだ続いています。新たな商業施設やオフィスビル、高層住宅が生まれ、この先しばらくにぎわいをもたらさそうです。

にぎわいを見せる二つの都市ですが、「よそ者目線」でまちが提供している価値を見直してみると違いが見えてきます。金沢は、特に駅と周辺施設については、顧客ターゲットは明確に三つ設定されていることがはっきり分かります。まず、先に挙げたインバウンドと首都圏からの若い女性客。それと地域住民（主に周辺エリアから電車通勤をする働く男女）です。前二者は日本と金沢周辺エリアの食と伝統文化を求めていますから、それに関連するモノと情報を提供する手段や店舗、コインロッカーなどの設備が充

実しています。全体に高級感があり、若い女性が好きそうなおしゃれでかわいいデザインの重要性を事業者も施設運営側も共通認識として持っているようでした。逆にどこを取っても、いわゆるオジサン好みの"ダサイ"デザインのモノやサービスは見当たりません。案内板や案内所など情報提供もよく考えられていますし、女性客が重い荷物を持ち運ばないで済むよう預かりサービスも充実しています。顧客の属性とニーズを把握して手を打っており、そうしたものが全体としてまちのブランドづくりに貢献しています。

一方、広島は地域住民の人口や抱える商圏の広さもあるのですが、さまざまなモノやサービスが主に地元向けにデザインされていると感じました。商品名や情報提供も方言を多用するなど、外から来る人の志向や利便性を優先するより、いわば"内輪受け"のテイストを強く感じるものが多いように思います。地元の「知ってる人」優先が前提です。中心市街地に建設された新しいサッカー場の「エディオンピースウイング広島」を訪ねたのですが、試合のない日に特段客を集めたり楽しませたりすることはあまり考えられていないようでした。受け皿となるサービスも少なく、観光客目線での道案内や情報提供も乏しいと感じました。せっかくつくった施設の日常的価値の可能性を狭めているのが残念でした。地元優先の価値観は地域の結束を強める一方、顧客層や市場を広げる邪魔をする面もありそうです。

地域経済アナリスト/コンサルタント 渡辺 和博



【プロフィール】◇渡辺 和博/わたなべ・かずひろ

合同会社ヒナニモ代表。1986年筑波大学大学院理工学研究所修士課程修了。同年日本経済新聞社入社。IT分野、経営分野、コンシューマ分野の専門誌の編集を担当。その後、日経BP 総合研究所 上席研究員を経て、2025年4月から現職。全国の自治体・商工会議所などで地域活性化や名産品開発のコンサルティング、講演を実施。消費者起点をテーマにヒット商品育成を支援している。著書に『地方発ヒットを生む 逆算発想のものづくり』（日経BP社）。

2026 行事カレンダー

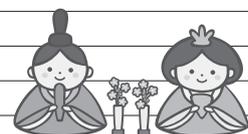
2月 February

- 16(月)
- 17(火) 青年部理事会
- 18(水)
- 19(木)
- 20(金) 令和7年度経営改善普及事業連絡協議会
- 21(土)
- 22(日) 第172回日商簿記検定
- 23(月)
- 24(火) 正副会頭会議
- 25(水) 石川県経営者協会能登地区委員会
日本公庫定例相談会
- 26(木)
- 27(金) 能登経済復興広域連携協議会準備会
- 28(土)



3月 March

- 1(日)
- 2(月)
- 3(水)
- 4(木) サービス業部会役員会
- 5(木) INPIT石川県知財総合支援窓口
- 6(金)
- 7(土)
- 8(日)
- 9(月)
- 10(火) 工業試験場技術交流会
正副会頭会議
- 11(水)
- 12(木)
- 13(金)
- 14(土)
- 15(日)



会員の広場

観光・料飲業部会

浜焼き能登風土 本店

期間限定！朝採れの能登牡蠣
能登で育った牡蠣をご賞味ください！

令和6年1月1日に発生した能登半島地震にて建物が全壊。その能登半島地震から1年11ヶ月を経て新店舗にて、再オープン。

秋・冬の期間限定！

ひとつひとつ丁寧に育てた自社の牡蠣はプリップリでクリーミー。
事前のご予約をしてからご来店することをおすすめいたします！

鮮度抜群！能登の新鮮な魚介の数々

能登は日本でも有数の漁業の盛んな地域で、当店では新鮮とれたてピッチピチの海鮮もご用意しております。素材の良さを最大限引き出すよう調理してご提供

いたします。鮮度抜群のおいしい海鮮ばかり！素材本来のおいしさをぜひ、ご堪能ください！

お好みの焼き加減でお楽しみください！

能登で採れた新鮮食材を浜焼きでお楽しみいただけます。お客様に焼いていただくので、ご自身のお好みに合わせた焼き加減でお召し上がりいただけます。

風土を生かした能登野菜を堪能！

能登の風土を生かして生産された能登野菜を丁寧に育てております。能登野菜と認定された16品目のおいしさ、良さを知っていただくために素材の良さを生かした料理をご提供しております！

牡蠣以外の料理もございますので、ご家族・ご友人・職場の仲間とぜひ一度お立ち寄りください。

【住所】 七尾市中島町塩津ム部106-3
 【営業時間】 ランチ 11:00～15:00 (ラストオーダー 14:30)
 デイナー 17:00～20:30 (ラストオーダー 20:00)
 【定休日】 水曜日
 【席数】 総席数 120席 貸切可能人数 ~120名
 宴会最大人数 着席時120名
 【電話】 080-5850-0032 (予約専用)
 【URL】 <https://notofood.gorp.jp>

掲載
無料！

「会員の広場」にて会社をPRしてみませんか？

会員の皆様をご紹介する「会員の広場」を始めました。
商品やサービス、会社PRなど自由にお使いいただけますので、ぜひご活用ください。

お申し込みは
Webから→



アクサ生命

みんなと
会社の未来を
健康に。

Know You Can
そう、あなたなら、できる。

AXA-A2-2209-1161/9WD

「健康経営®」は、特定非営利活動法人健康経営研究会の登録商標です。

やりがいが集まって、会社はつよくなる。

「離職率が下がり始めている」「生産性がアップしてきた」。いま、経営者の皆様のそんな声が増えています。それはきっと、アクサの健康経営による「やりがい効果」。心と身体の健康をケアすることはもちろん、ある会社では「仕事と治療の両立」や「社内サークル活動」などに取り組み、夢や生きがい、働きがいといった「社会的健康」までをサポートしています。
社員一人ひとりがやりがいをもって働ける環境をつくり、会社全体も元気に変えていくために、アクサ生命がお手伝いします。

アクサ生命は、商工会議所と協力し、会員事業所の各種ニーズ(弔慰金・見舞金制度、退職金制度、リスク対策や事業承継など)を共済制度/福祉制度でサポートしています。

北陸支社 金沢営業所
920-0918 石川県金沢市尾山町9-13 金沢商工会議所会館3F
TEL 076-221-7728 FAX 076-262-1883
七尾分室
926-0802 石川県七尾市三島町70-1 七尾産業福祉センター3F
TEL 0767-52-4325 FAX 0767-52-5375

83%が実感！

アクサ式やりがい効果

※アクサ式導入企業756社のデータより

健康経営アクサ式